

『生きる意志』と『生きる力』と『生きる歓び』に満ち溢れた人生を！

学校法人安城学園 学園長 寺部 暁

あなたに誕生日があるように、学校法人安城学園にも誕生日があります。それは11月22日の創立記念日です。

お陰様で、今年度創立111周年を迎えることができました。

これもひとえに「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して無限の可能性に挑戦された卒業生、現在挑戦している在学生の皆様のお陰であります。心から感謝申し上げます。

さて、あなたがこの世に生を受けたとき、生みの親である両親から「願い」が込められたように、本学園がこの世に生を受けたときも同じように、生みの親である寺部三蔵・だい夫妻から創立者の「志」が込められました。

この創立者の「志」のことを「建学の精神」と呼んでいます。

最初は小さな赤ん坊であったあなたも日々さまざまな経験を積み重ね、幾多の困難を乗り越えて大きく成長されました。

同じように、最初は小さな裁縫塾であった本学園も年々さまざまな経験を積み重ね、幾多の困難を乗り越えて、西三河の総合学園にまで大きく成長してきました。

そして、この111年間、本学園の教職員がいつも心の中で大切にしてきたもの、それは「誰でも無限の可能性を持っている。一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで開発するのが教育である。」という創立者の教育信条であります。

ところで、あなたの潜在能力はどこに存在するのでしょうか？あなたの潜在能力を目に見えるようにするにはどうすればいいのでしょうか？

その答えが、『3つの挑戦』です。

『3つの挑戦』とは「第一の挑戦」と「第二の挑戦」と「第三の挑戦」のことです。

あなたが『挑戦』しない限り、あなたの目に見えることはありません。

あなたが『挑戦』しない限り、あなたの潜在能力はあなたの中に眠ったままです。

「第一の挑戦」とは、今まで取り組んできたけれども『苦手』なことを克服するための挑戦です。

「第二の挑戦」とは、今まで取り組んできて上手くできたことをさらに『上達』させるための挑戦です。

「第三の挑戦」とは、成功するか・失敗するか試してみないと分からないけれども、今まで経験したことのないことに取り組んで『未知』の自分を発見するための挑戦です。

「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して、経済的に自立できるだけでなく政治的・文化的にも自立できる社会人を育成すること、これが創立者の「志」でした。そして、自らが経済的に自立できるだけでなく政治的・文化的にも自立できる社会人を目指して、生涯にわたって「3つの挑戦」に取り組んできたのです。

あなたは、本学園が経営する愛知学泉大学・愛知学泉短期大学に縁あって入学されたのですから、学園独自の学習モデル「智・徳・体・感・行」に基づいた自学能力・共学能力という本学園でしか学べない能力を身に付けるとともにあなたの「志」を実現するために不可欠な『3つの挑戦』にぜひ取り組んでいただきたいと思います。

最後に、あなたが『生きる意志』に満ち溢れた人生を送れること、『生きる力』に満ち溢れた人生を送れること、『生きる歓び』に満ち溢れた人生を送れることを心からご祈念申し上げます。